

# 2023 年 4 月の製薬業界について患者団体が語るこ とーアジア編

## プレスリリースの解禁日時

2024 年 9 月 25 日 (水) 午前 6 時 (オーストラリア東部標準時)

お問い合わせ : Alex Wyke

電話 : +44-(0)-7960-855-019

E メール: [report@patient-view.com](mailto:report@patient-view.com)

ロンドン 2024 年 9 月 25 日

## 概要

本日、PatientView は最新号「製薬業界の企業評価」の調査結果を発表します。今回焦点を当てたのは以下のアジア地域の 4 カ国 :

- ▶ ANZ (オーストラリア+ニュージーランド) - 64 の患者団体が回答。
- ▶ 中国 - 64 の患者団体が回答。
- ▶ 日本 - 48 の患者団体が回答。

2023 年 11 月から 2024 年 2 月にかけて、アジア地域における 176 の患者団体を対象に、2023 年の製薬業界のパフォーマンスに関する意見を収集しました。

2023 年の「製薬業界の企業評価」に回答した患者団体は、患者の体験を深く理解しており、医療システム内でも多くの利害関係者とネットワークを形成しています。そのため製薬業界や各企業への意見を述べる上でも独自の視点を持っています。アジアの患者団体も、この点において例外ではありません。

## アジアにおける製薬業界と患者団体の関係

近年、製薬業界はアジアの患者団体とのパートナーシップの規模および範囲の拡大に取り組んでいます。2016 年に「企業評価」で対象となった企業のうち、アジア太平洋地域で 10 以上の患者団体と提携していたのは、わずか 19% でした。しかし、2023 年には約 73% の製薬会社が 10 以上の患者団体と提携しています。2023 年の調査に回答したアジア 4 カ国の患者団体のほとんどは、少なくとも 1 つの製薬会社と協力関係にあると回答しています :

- ▶ ANZ - 92%
- ▶ 中国 - 94%
- ▶ 日本 - 96%

より詳細な情報は以下をお読みください

- ▶ アジア業界全体における 2023 年の「企業評価」調査結果。
- ▶ アジアの患者団体による、アジア地域の製薬業界改善に向けた提言。
- ▶ 2023 年アジア分析に含まれる各製薬会社の業績。

## 業界全体の結果

アジア 4 カ国の患者団体は、政治的、人口統計的、疫学的背景が異なるにもかかわらず、製薬業界に対する多くの考え方（肯定的・否定的の両方）が共通しています [以下のグラフを参照]。

- ▶ 回答したアジア 4 カ国の患者団体のほとんどが、製薬業界の業績全般について肯定的でした。2022 年と同様、中国の患者団体は製薬業界を最も高く評価しており、2023 年では中国の患者団体の 77% が製薬業界の企業評価について「優れている」または「良い」と判断しています。
- ▶ また、回答した 4 カ国の患者団体のほとんどは、製薬業界が患者にとって有益な製品を提供するという点で「優れている」または「良い」と捉えていました。その割合は、ANZ が 65%、中国が 66%、日本が 72% でした。
- ▶ しかし、2023 年に回答したアジアの患者団体のうち、製薬業界が「優れている」または「良い」と評価した団体が少なかった項目は次の通り：・医薬品へのアクセス；・研究開発への患者参画；・価格設定；・透明性。
- ▶ 2023 年に回答した 4 カ国の患者団体で、製薬業界に対する意見が異なっていたのは、「革新性」と業界の「誠実性」でした。

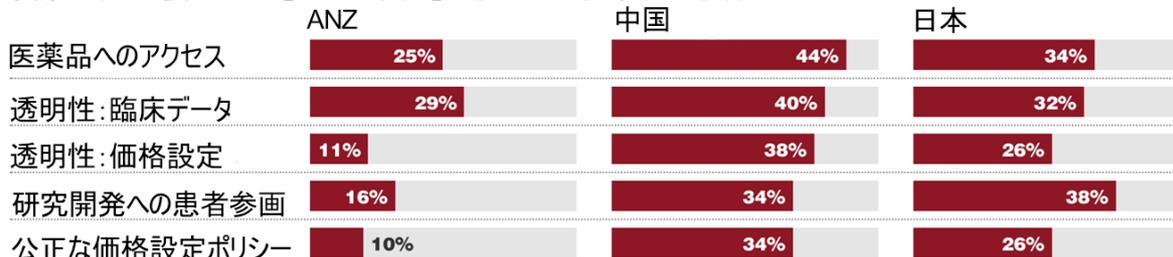
製薬業界の企業評価（2023 年） - 回答者は ANZ、中国、日本の患者団体  
「優れている」または「良い」と回答した患者団体の割合（%）

国	2023年	2022年 (前年比)
ANZ	61	-8%
中国	77	-3%
日本	67	+5%

製薬業界はアジアでの具体的活動においてどの程度優れていたか？

「優れている」または「良い」と回答した患者団体の割合 (%)

製薬会社が「優れている」または「良い」と考えている少数派の患者グループは以下：



アジア諸国でも国によって製薬会社への見解は異なっている



## アジア地域において製薬業界が取り組むべき改善策とは？

### Moving Forward

2024年8月、PatientViewは、患者との関係向上や患者中心主義の改善に関心を持つ製薬会社向けに、「Moving Forward」と呼ばれる新しいツールキットを発表しました。

PatientViewに数多く寄せられた患者団体からのコメントやフィードバックを分析して作成された「Moving Forward」ツールキットが、さまざまな国や専門分野の患者団体の優先事項を特定します。例えば、アジア太平洋地域（特にANZ、中国、日本）において、患者団体が製薬会社に求める優先順位をまとめると下表のようになります。アジア太平洋地域だけでも100を超える患者団体が「Moving Forward」の独創性に1,000件以上のコメントを寄せ、製薬企業の評価をする10の指標に関して、最も重要視する点を共有しました。

アジア太平洋地域では、2つの重要な課題が際立っています。アジアの患者団体は、製薬会社との関係性を進展させること、とりわけ持続可能で長期的な関係の構築を望んでいます。

「医薬品への患者のアクセス」に関するアジアの患者団体からの主な提言は、HTAと承認のスピードおよび質の向上です。以下のコメントは、これらのアジアの患者団体の見解を理解するのに役立つことでしょう。

PatientView プレスリリース 2024年9月25日午前6時（オーストラリア東部標準時）まで非公開

製薬会社に対するアジア地域患者団体の優先事項リスト

[患者団体回答数]

回答した患者団体の割合 (%) (地域/国別)

	アジア太平洋 [111]	ANZ [34]	中国 [17]	日本 [22]
患者中心主義	7	7	6	10
患者情報	14	13	13	14
患者の安全	6	5	6	5
患者にとって有益な製品	6	8	4	4
透明性	10	10	7	14
誠実性	6	8	7	5
患者団体との関係	18	14	18	20
「医薬品を超えた」サービス	8	8	11	4
研究開発への患者参画	10	9	6	15
医薬品へのアクセス	15	18	22	9

患者団体との関係

「患者への深い理解を促し、患者をサポートするような信頼できる患者団体の設立に協力すること。」

全国呼吸器疾患患者団体（日本）

「協力関係を維持するという非営利目的の活動にも注力すること。協力関係をマーケティング活動に利用するのをやめること。」

全国 HIV/AIDS 患者団体（中国）

医薬品へのアクセス

「承認プロセスの状況[について]誠実であること。患者団体や患者のコミュニティに敬意を払うこと。」

全国肝疾患患者団体（オーストラリア）

「PBAC（薬品給付諮問委員会）への提出書類に患者からのフィードバックを含めること。」

全国神経疾患患者団体（オーストラリア）

「患者や患者擁護団体と（製品について）協力すること。情報と学んだことをグローバルで共有し、プロセスをスピードアップさせること。」

全国がん患者団体（ニュージーランド）

## 各製薬会社の結果

2023年、ANZ、中国、日本にある製薬会社の企業評判でトップに選ばれた3社-患者団体と親交があり、協力関係にある会社

[括弧内の数字は、国/地域ごとの総合ランキングに含まれる企業数]

親交がある			
順位	ANZ [13]	中国 [13]	日本 [8]
1位	Gilead Sciences	Gilead Sciences	Novartis
2位	Roche	Takeda	Boehringer Ingelheim
3位	AstraZeneca	Roche	Roche/Chugai

協力関係にある:			
順位	ANZ [9]	中国 [7]	日本 [8]
1位	Gilead Sciences	Gilead Sciences	Novartis
2位	AstraZeneca	Roche	Roche/Chugai
3位	GSK	Takeda	AstraZeneca

脚注:

分析対象となった企業のリスト:

- ▶ ANZ: アッヴィ (AbbVie)・アムジェン (Amgen)・アストラゼネカ (AstraZeneca)・バイエル薬品 (Bayer)・ Bristol Myers Squibb (Bristol Myers Squibb)・イーライリリー (Eli Lilly)・ギリアド・サイエンシズ (Gilead Sciences)・GSK・ヤンセンファーマ (Janssen)・ノバルティスファーマ (Novartis)・ファイザー (Pfizer)・ロシュ (Roche)・サノフィ (Sanofi)
- ▶ 中国: アッヴィ (AbbVie)・アストラゼネカ (AstraZeneca)・バイエル薬品 (Bayer)・ベーリンガーインゲルハイム (Boehringer Ingelheim)・ギリアド・サイエンシズ (Gilead Sciences)・GSK・ヤンセンファーマ (Janssen)・MSD (メルク・アンド・カンパニー) (Merck & Co)・ノバルティスファーマ (Novartis)・ファイザー (Pfizer)・ロシュ (Roche)・サノフィ (Sanofi)・武田薬品工業 (Takeda)
- ▶ 日本: アステラス製薬 (Astellas)・アストラゼネカ (AstraZeneca)・ベーリンガーインゲルハイム (Boehringer Ingelheim)・エーザイ (Eisai)・ノバルティスファーマ (Novartis)・ファイザー (Pfizer)・中外製薬 (Chugai/Roche)・武田薬品工業 (Takeda)

企業は、患者団体と製薬会社の間で策定された10項目の企業評価指標によって評価されています。

### 患者団体にとっての重要な課題 - 患者団体の視点から



最後に、PatientView は、2023 年「製薬業界の企業評価」調査に時間を割き回答してくださったアジア地域の 176 の患者団体にお礼を申し上げます。

2023 年の回答者であるアジアの患者団体は、製薬業界（および各製薬会社）がアジアの患者のニーズや意見にどの程度応えているかを評価し、その声を共有することで、業界改善に役立つことを望んでいます。

2023 年「製薬業界の企業評価」調査のアジア部門で取り上げられた製薬企業の多くは、現在、患者中心の戦略を構築しています。アジアの調査結果で得たフィードバックは、企業モデルの構築や企業の取り組みに影響を及ぼし、アジア患者のニーズや意見をより反映した取り組みが期待されます。

本 2023 年アジアレポートの詳細については、プレスリリースの冒頭に記載されている連絡先にお問い合わせください。

プレスリリースの終了